

kk2年キャリア意識形成 第8回

働く意味を考える

月曜3限

担当講師 角田伸彦

働くことの意味を考える

「働く」⇒いくつかの理由がある。

どのような理由あるいは意義があるのか考えよう

現在の日本において、ただ生活（お金）のためだけに
働く人は少数派なのか？

生活やお金のため

はるか古代から「働く」ということは、食を得るために必須であった。

動物を捕らえることも、木の実やきのこを採集することも労働である。

現在も生活のために働くということは、大多数の人間において必要であり、当然のこととされる。(何をするにもお金が必要)

「働かざるもの、食うべからず」という言葉があるように・・・

社会とのかかわりや人間関係のため

人間は社会的な動物

ひとりだけで生きていくことは困難（物質的にも精神的にも）

社会あるいは自分以外の人とかかわる中で成長する

働くことは、誰にでも一番身近な他者・外界とのつながりを持つ機会

自己の在り様を映し見、自己の価値をより高める最上の行為

自己実現や生きがいのため

人は絶えず「意味ある存在」であり、自らもそうあろうとする。

自分の効力感を高め、達成感を得ることで幸福感を得る。

これが、人生を過ごす上で欠かせないものである。

「働く」ことは積極的な行為であり、確実に幸福感を得られる機会となり得る可能性を人に与える。

学びやスキルアップのため

「働く」ことを通じて多くを学び、人生を豊かにすることができる。

また、自分の「したいこと」のための準備であり、あるいは次なる仕事についての思いを抱かせる。

次の段階へのステップアップへの助走である。

社会貢献のため

社会の一員として、社会のためになるようなことをしたいという漠然とした感覚は誰しもがもつ。

「働く」ことは直接的・間接的を問わず、そのために誰しもが行える行為である。

一見、社会貢献とは思われない仕事も、どこかで誰かの役に立つことがある。多くに人はそれを信じ、あるいは願い日々「働く」のだ。

あなたにとって「働く」とはどういうことなのか

働くことの意味はひとつではない。

自分においても複数同時に存在する。

われわれはどのような「仕事」において「働く」意義を見いだし実践していくのか、今考えよう。

働く意味は人それぞれに違っている部分と
同じように考える部分があります。

自分としての意味付けをしっかりと考えていくことは大切です。
また、年齢を重ねることで変化していくこともあるかもしれませんが・・・

先回の職業インタビューでいろんな立場の方々に意見を訊きました。
そのことも皆さんが考えるためのヒントになったことでしょう。

今後も折りあるごとに「職業インタビュー」をしていくことをお奨めします。

今回のレポートとお知らせ

今あなたの考える「働く意味」は何ですか。400字以内で書いて提出してください。

期限 6月26日 20時

* お知らせ

7月13日(11回)に4年生講話(内定者)を聴く機会を授業に設定します。当日は対面授業として実施します。

月曜3限(指定教室G3303を予定しています)

参加できるように各自調整してください。

どうしても参加できない人は今月中にメールにて連絡してください。

nd540215@aitech.ac.jp